

Ever Onward

アニュアルレポート 2020

2020年3月期



はじめてのシマセイキ

サステイナブルな社会に貢献する 横編機よこあみきのリーディングカンパニー

横編機は、デザイン性の高いニットウェアの生産で活躍しています。

シマセイキは、コンピュータ横編機メーカーとして常に新しい
技術開発への挑戦を続け、ユーザー業界をリードしています。

目次

シマセイキとは

- 1 はじめてのシマセイキ
- 3 シマセイキの価値創造モデル
- 5 シマセイキとSDGs
- 7 財務ハイライト

経営戦略

- 9 トップメッセージ
- 15 特集：
トータルファッションシステム®
- 17 特集：アパレル分野以外への展開

シマセイキ 5つの特長

1 技術革新を続けて半世紀

1962年に手袋編機メーカーとしてスタートした当社は、機械と電子の技術を融合した総合メカトロニクス企業として、技術革新を通じて世界のニット・アパレル産業の発展に貢献し続けています。



2 海外販売が約80%

ファッション産業の中心地イタリアや、世界最大のニット生産地である中国・香港、新たな生産拠点として拡大している南アジア・ASEAN諸国など、全世界で高い評価をいただいています。



3 日本国内での一貫生産による“シマセイキクオリティ”

製造は全て日本国内の本社工場で行っています。部品から組み立てまでの一貫生産により、多種多様な製品を効率的に生み出すとともに、耐久性・安定性などの優れた品質を確保。世界中の顧客から高い信頼を獲得しています。

4 横編機の最高峰
ホールガーメント®

一着丸ごと編み上げられたニットを作るホールガーメント®横編機は、シマセイキの独自開発。高いデザイン性と着心地の良さを実現するとともに、カットロスがなく縫いしろが不要で省資源なうえ、世界的な縫製技術者の不足という問題の解決にも大きく寄与します。

5 アパレル分野以外にも
積極展開

デザインシステム関連事業を中心に、アパレル以外の分野にも「SDS®-ONE APEX」シリーズや自動裁断機「P-CAM®」などを幅広く提案。高性能・高品質の製造機器をさまざまな業界に提供しています。



事業活動の成果

- 19, 21 事業セグメントの状況
- 20 ユーザー事例：
Andari Fashion Inc.様
- 22 ユーザー事例：
ミドリアパレル ベトナム ホアビン様
- 23 トピックス

成長を支える基盤

- 25 ESGハイライト
- 27 地球環境とともに ほか
- 31 コーポレート・ガバナンス
- 34 取締役・執行役員

財務・企業情報

- 35 財務情報について
- 36 企業情報

「世界初」「オンリーワン」の製品で、アパレル産業を

主な資本(インプット、連結)

開発力

世界初、**オンリーワン**の
製品・サービスを生み出す力

生産技術力

多品種少量製品を**高品質**に
一気通貫で生産できる技術

販売力

約**80**カ国で販売
海外売上比率約**80**%

社会的課題

過重労働による
健康障害

資源の消費/
衣料品の
在庫廃棄

単純作業による
低賃金労働

お客様課題

ファッションの
高度化への対応

多様なモノづくり
への対応

市場トレンドの
構造変化

生産プロセスで生じる
ロスの削減

労働環境の改善

事業活動

開発・設計、生産、販売・サポートを
全てワンストップで提供

開発・設計



生産



会社を支える
基盤

経営理念
Ever Onward

ステーク
ホルダー

株主・
投資家

地域社会

中心とした社会課題の解決に貢献します

人財力

従業員**2,010**名
多様な人材の育成により
独創性を生む社風

知財力(単体)

特許保有 **1,298**件
商標登録 **319**件

財務力

自己資本比率 **82.6**%

アウトプット



横編機



デザインシステム



自動裁断機



手袋・靴下編機

販売・サポート



10年後のビジョン
& 中期経営計画

コーポレート・
ガバナンス

お客様

取引先

従業員

創出される社会的価値 (アウトカム)

お客様に 提供する価値

多彩なデザインを
クイックレスポンスで

多品種少量生産対応

市場トレンドの変化に
機敏に対応できる
ソリューション

生産プロセスの
高効率化

働き続けられる
労働環境の提供

労働環境の改善

3 すべての人に
健康と福祉を



カットロスの削減
廃棄衣料の減少

12 つくる責任
つかう責任



アパレル産業の
高付加価値化

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



シマセイキはサステナビリティへの取り組みを通じて、

アパレル産業は今、大きな変革期を迎えています。

近年、消費者の求めに応じて、トレンド商品を低価格でスピーディに届けるサプライチェーンが確立されてきました。

しかしそれは、人件費の安い地域で大量生産され、市場に投入されることを前提としています。このような流れは供給過剰を生み、売れ残り商品の廃棄処分につながるなど、現在、社会問題としてクローズアップされています。

当社は、さまざまな課題に対し、ホールガーメント®横編機、デザインシステムを中心とした革新的なソリューションを広めることで、流通革命を促し、多品種少量生産などへの対応や「サステナブルなモノづくり」を実現させ、SDGsの達成に貢献していきます。

当社製品を通じた SDGsへの取り組み

アパレル産業の課題に対し、当社のホールガーメント®横編機とデザインシステムの連携が、さまざまな無駄をなくす生産工程の革新を実現します。



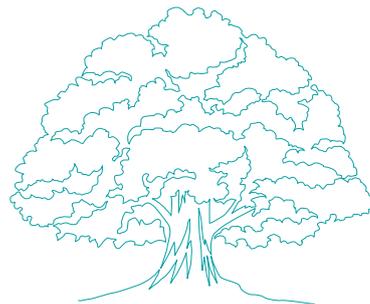
人にやさしく

Sustainability
@ SHIMA SEIKI

地球にやさしく 未来をつくる



SHIMA online
SHIMA SEIKI Online Services



SDGsの達成に貢献していきます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年の国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール、169のターゲットから構成され、発展途上国のみならず、先進国も取り組むことが求められています。

労働環境の改善

一般的な横編機は、裾、袖、身頃などのパーツごとに編み、それらをミシンによる縫製や、ニットの目と目をつなぐリンク作業で縫い合わせます。リンク作業には、編み目の一つ一つに針を刺す手作業が必要で、長時間にわたり目を酷使する細かな作業です。

当社のホールガーメント®は縫い目がないため、過酷なリンク作業をなくし、労働環境の改善に寄与します。



人にやさしく

カットロスの削減、廃棄衣料の減少

当社が独自開発したホールガーメント®横編機は、一着丸ごと編むことができるため、裁断や縫製、リンク作業などの後工程をなくすことができます。縫いしろ部分のロスがなくなるうえに、従来の製法と比べてカットロスを約30%も削減でき、それに伴うエネルギーや廃棄によるCO₂の排出量を削減します。また、出荷までにかかるリードタイムを短縮できるため作り足しが可能となり、無駄なく、必要なときに必要な分だけ生産でき、廃棄される売れ残り商品を最少化します。



地球にやさしく

アパレル産業の高付加価値化

同じ商品の大量生産ではなく、地域ごとの異なるニーズに合わせた商品を作り出すことが、その地域の産業を高度化することにつながります。アパレル産業においても、一人ひとりに合わせたクリエイティブな商品開発による高付加価値化を、当社のホールガーメント®横編機、デザインシステムなどによりバックアップします。



未来をつくる

財務ハイライト

株式会社島精機製作所および連結子会社
3月31日に終了した連結会計年度

	2011	2012	2013	2014	2015	2016
会計年度:	百万円					
売上高	¥42,781	¥37,327	¥34,970	¥40,636	¥48,354	¥49,583
売上総利益	19,194	14,432	12,212	17,269	21,866	23,345
営業利益(損失)	5,908	883	(509)	2,732	5,745	5,782
税金等調整前 当期純利益(損失)	1,092	(537)	3,363	7,230	7,006	4,803
親会社株主に帰属する 当期純利益(損失)	770	(642)	1,754	4,863	3,646	3,271

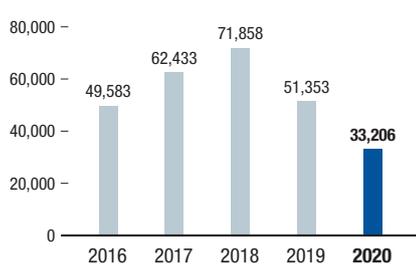
	百万円					
会計年度末:						
総資産	¥113,951	¥106,863	¥112,089	¥119,727	¥126,987	¥126,416
純資産	86,591	84,167	87,382	93,222	98,179	98,293

	円					
1株当たり情報:						
当期純利益(損失)	¥22.26	¥(18.60)	¥51.26	¥142.13	¥106.54	¥95.61
配当金	35.00	40.00	25.00	32.50	32.50	37.50
純資産	2,502.27	2,454.07	2,547.88	2,718.57	2,863.49	2,867.00

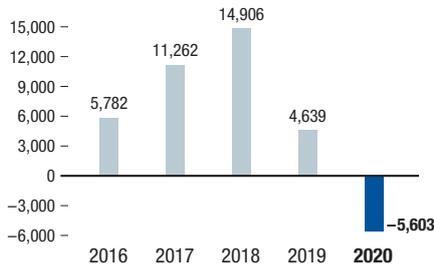
	%					
財務指標:						
ROA	0.7%	(0.6)%	1.6%	4.2%	3.0%	2.6%
ROE	0.8	(0.8)	2.0	5.4	3.8	3.3
自己資本比率	75.9	78.6	77.8	77.7	77.2	77.6
海外売上高比率	91.1	87.6	84.7	83.6	84.1	83.5

(注) 読者の便宜のため、円建金額を2020年3月31日現在の為替レートである1米ドル=108.83円、1ユーロ=119.55円でそれぞれ換算しています。

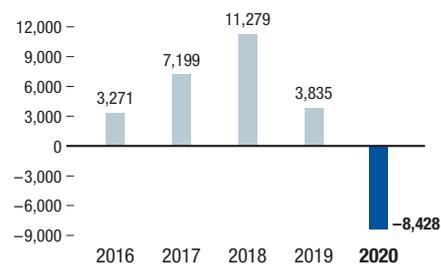
売上高 (百万円)



営業利益(損失) (百万円)

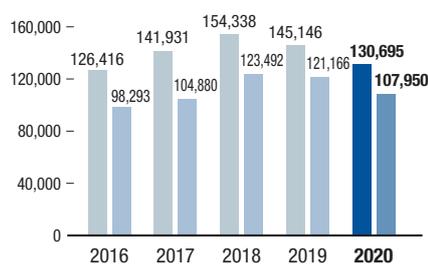


親会社株主に帰属する
当期純利益(損失) (百万円)



2017	2018	2019	2020	2019 ▶ 2020	2020	2020
				増減率	千米ドル	千ユーロ
¥62,433	¥71,858	¥51,353	¥33,206	-35.3%	\$305,118	€277,758
29,048	33,438	23,156	11,629	-49.8	106,855	97,273
11,262	14,906	4,639	(5,603)	—	(51,484)	(46,867)
9,979	15,443	5,100	(6,552)	—	(60,205)	(54,806)
7,199	11,279	3,835	(8,428)	—	(77,442)	(70,498)
				増減率	千米ドル	千ユーロ
¥141,931	¥154,338	¥145,146	¥130,695	-10.0%	\$1,200,910	€1,093,225
104,880	123,492	121,166	107,950	-10.9	991,914	902,969
				増減率	米ドル	ユーロ
¥209.97	¥316.82	¥105.62	¥(239.68)	—	\$(2.20)	€(2.00)
45.00	60.00	55.00	35.00	-36.4%	0.32	0.29
3,039.66	3,381.85	3,411.08	3,126.86	-8.3	28.73	26.16
5.4%	7.6%	2.6%	(6.1)%			
7.1	9.9	3.1	(7.4)			
73.8	80.0	83.5	82.6			
87.6	90.0	83.2	78.9			

総資産／純資産 (百万円) ■ 総資産 ■ 純資産



1株当たり配当金 (円)



ROA／ROE (%) ● ROA ■ ROE



事業環境の変化が重なり、 大幅減収・赤字計上となりました。



代表取締役社長

島 三博

プロフィール

- 1987年3月 当社入社
- 1998年3月 システム開発部長
- 2002年6月 取締役システム開発部長
- 2007年6月 常務取締役制御システム開発部、知的財産部、トータルデザインセンター担当兼グラフィックシステム開発部長
- 2011年6月 専務取締役生産技術部、トータルデザインセンター担当兼生産本部長
- 2012年6月 取締役副社長経営企画部、トータルデザインセンター担当兼営業本部副本部長
- 2017年6月 代表取締役社長兼営業本部長兼経営企画部担当
- 2018年6月 代表取締役社長執行役員兼経営企画部担当
- 2020年6月 代表取締役社長執行役員営業本部長兼トータルデザインセンター、経営企画部担当(現任)

Ever Onward — 限りなき前進

当社は、「手袋編機の全自動化」を実現するため、現会長・島正博によって1962年に創立されました。

「Ever Onward — 限りなき前進」を経営理念に掲げ、常に新しい技術の開発を目指して、惜しみない努力と未知なる領域への挑戦を続けてまいりました。

創立以来、時代のニーズを先取りした横編機やデザインシステムを次々と開発し、世界のトップメーカーへと成長。1990年代には、「産業革命に匹敵する」と評された無縫製型の「ホールガーメント®横編機」の開発に成功しました。

今後も新たな技術開発へのチャレンジを続けながら、企画提案型のビジネスモデルの浸透を図り、アパレル産業をはじめユーザー業界の発展に貢献してまいります。

Q₁

当期(2020年3月期)の主な取り組みと業績について説明してください。

A₁

想定した以上の事業環境の悪化により、大幅な減収、赤字計上となりました。

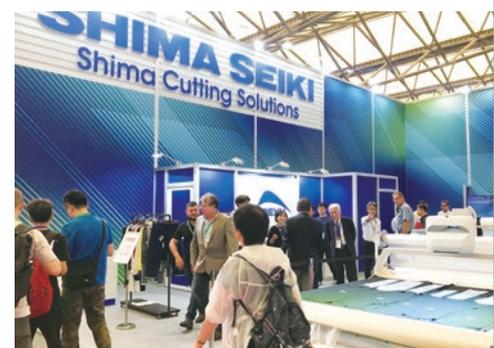
当期(2020年3月期)のアパレル業界は、前年度から続く米中貿易摩擦の長期化などを背景に先行き不透明感が広がりました。加えて、売れ残り衣料品の大量廃棄が世界的に問題視される中で生産数量抑制の動きが強まり、上半期は当社の主要顧客である各地のニット生産工場でも設備投資マインドが低調となりました。

このような状況の下、当社は2019年6月に開催された世界最大規模の国際繊維機械見本市「ITMA 2019」をはじめ、世界各地で当社の製品、システムを活用した「サステイナブルなモノづくり」への転換を積極的に訴求しました。しかしながら、例年、設備投資が活発化する第4四半期に、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが発生し、当社の主要マーケットである中国市場を皮切りに欧州から全世界に感染が拡大。各地の客先において設備投資が凍結状態となりました。

これらの結果、当期の連結売上高は、2019年10月の修正予想をさらに下回る332億6百万円(前期比35.3%減)と大幅な減収となりました。また、利益面についても、売上高の減収に加えて、生産調整に伴い売上総利益率が悪化したことなどで、営業損失56億3百万円(前期は営業利益46億39百万円)、経常損失55億83百万円(前期は経常利益49億91百万円)となりました。また投資有価証券評価損などの特別損失の計上および繰延税金資産の取り崩しなどに



ITMA 2019
【スペイン】



CISMA 2019
【中国】

トップメッセージ



Pitti Filati 86
【イタリア】



ISPO MUNICH 2020
【ドイツ】

より、親会社株主に帰属する当期純損失は84億28百万円(前期は純利益38億35百万円)と大幅な赤字計上となりました。

Q₂ 事業分野別の状況について説明してください。

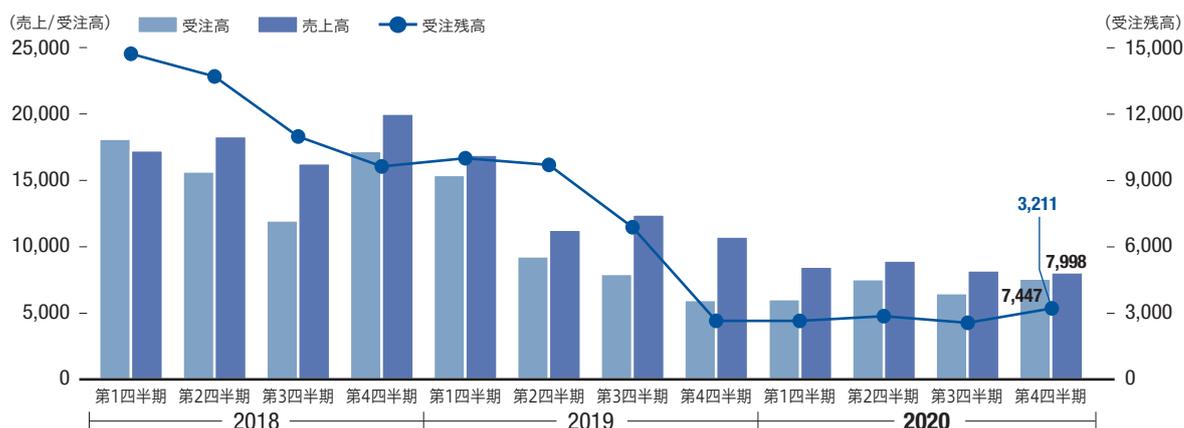
A₂ 横編機の主力市場において設備投資マインドが大きく冷え込み、受注が減少しました。

横編機事業では、世界経済の先行き不透明感や、廃棄ロスなどの環境問題を背景とした設備投資マインドの冷え込みに新型コロナウイルス感染症の影響が加わったことにより、主力市場とする中国、バングラデシュ、ベトナムなどのアジア地域において、OEM型生産工場を中心に設備投資が大幅に減少しました。

また、中国市場を中心として順調に販売台数を伸ばしてきたホールゲーム®横編機も、中国経済の成長鈍化などを背景に新規受注が低迷しました。近年、アジア市場で販売を拡大してきたシューズアッパー生産用途の横編機も、安価な中国製品の参入による競争激化で苦戦を強いられました。さらにイタリアを中心とする欧州市場や日本市場においても、顧客の設備投資が低調に推移しました。

デザインシステム関連事業は、「SDS®-ONE APEX」シリーズが横編機の販売減少に伴い、売上が減少しました。自動裁断機「P-CAM®」はアパレル業界全体の落ち込みの影響から、日本、海外市場ともに販売が低調となりました。

■ 四半期別売上高/受注高/受注残高 (百万円)



(3月31日に終了した連結会計年度)



次期(2021年3月期)以降の展望について説明してください。



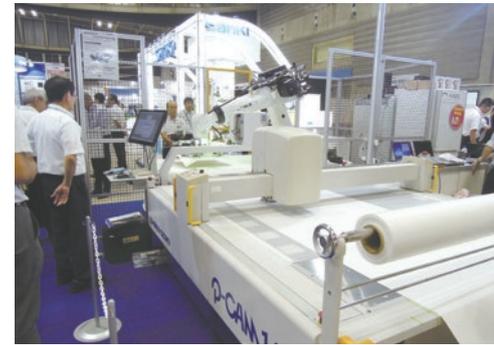
新たなビジネスモデルを模索するアパレル業界に、
当社のトータルソリューションを力強く提案していきます。

次期(2021年3月期)は、新型コロナウイルス感染症の収束時期や、経済活動の落ち込みの影響を見通すことができず、先行きは非常に不透明な状況にあります。このような状況のため、次期の業績予想につきましては、合理的な算定が困難なため、現時点では未定とさせていただきます。

一方、中期経営計画「Ever Onward 2020」は、目標数値の達成は困難になっているものの、最終年度として引き続き4つの成長戦略「横編機事業の最強化」「独自性をもった事業範囲の拡大」「収益構造の改革」「経営基盤の強化」について、全社をあげて推進していきます。

現在のコロナ禍が今後どのような形で収束していくにせよ、アパレル・ファッション業界が大きな課題を抱えていることに変わりはありません。消費者のエシカル消費やカスタム化などの行動変化、また、デジタル化の急速な進展、サステナビリティ等の企業の社会的責任(CSR)への要求の高まりなど、いま世界のアパレル・ファッション業界は、大きく変化する事業環境への対応が求められています。

これまでのような大量生産・大量消費を前提とした、リードタイムの長いビジネスモデルから脱却し、市場ニーズに即した付加価値の高い製品を、必要なときに必要な量だけ生産し、短納期で消費者に届けられる仕組みをいかに構築していくのか—その解決策を求めて、いま業界全体が模索を続けている状態だと感じています。

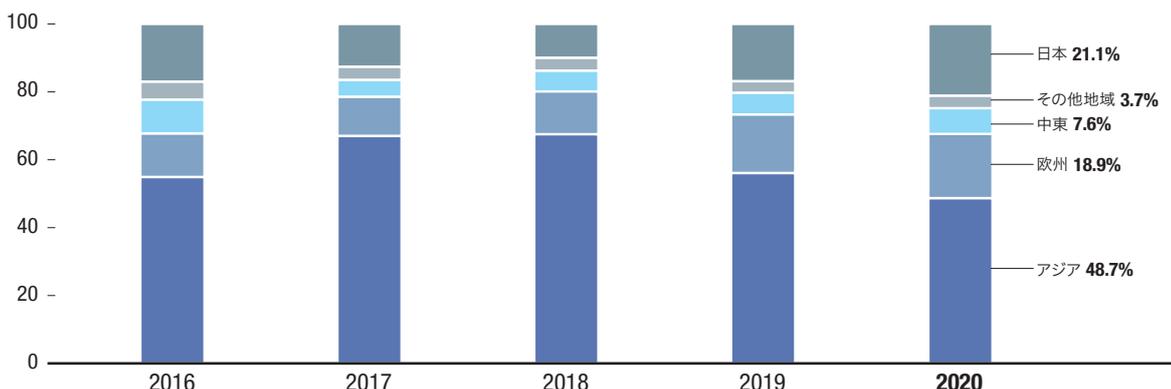


SAMPE Japan
【横浜(日本)】



56th FISMA TOKYO
【東京(日本)】

■ 地域別売上高比率 (%)



(3月31日に終了した連結会計年度)

トップメッセージ



当期の世界的な設備投資の低迷は、もちろん経済環境やコロナ禍の影響もありますが、それ以上にアパレル・ファッション業界全体が今後どこに向かって進むべきかについて、大きく迷っていることの表れでもあると考えています。

当社の提案するホールガーメント®横編機とデザインシステムを核としたトータルソリューションは、そのような業界全体の課題を解決し、目指すべき新たなビジネスモデルの実現に必ず貢献するものであると私は確信しています。これまでも当社は全世界の顧客やアパレル企業に向け、そのことを継続的に提案してきましたが、私たちの提案の重要性を真にご理解いただき、新たな未来に向かって変革を起こしていただくため、本年度より自ら営業本部長として陣頭指揮をとり、世界各国・地域のお客様にトータルソリューションを力強く提案することで新たな価値を創出していきたくと考えています。また価値創造のベースとなる研究開発活動についても、積極的な投資を継続していく方針です。



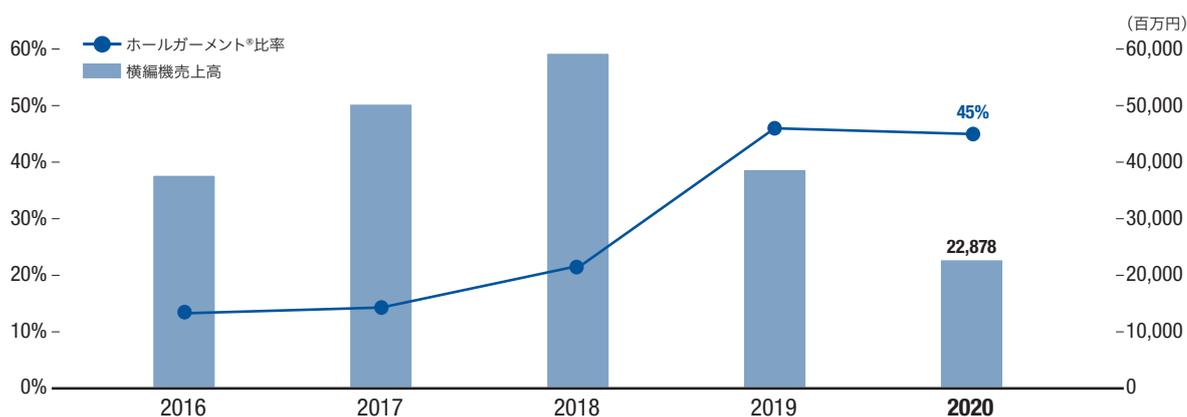
株主・投資家の皆様へのメッセージをお願いします。



サステイナブルな未来に向けて
価値創造を実践していきます。

当社は株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけています。当期の株主配当については中間配当20円、期末配当15円の合計35円で実施させていただきました。2年連続での減配となり、誠に心苦しく思いますが、

■ ホールガーメント®横編機比率(売上高ベース)



(3月31日に終了した連結会計年度)

今後もできる限り株主の皆様への安定配当を継続していく所存です。

また、株主還元を充実させるべく、当期において2019年11月から2020年2月に100万株の自己株式を取得し、2月には80万株の自己株式の消却を実施しました。

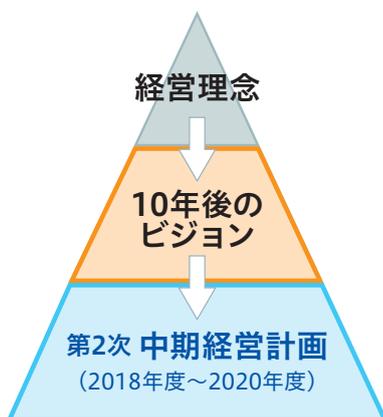
今回のコロナ禍は、アパレル・ファッション業界全体が「あるべきビジネスモデル」の構築に向けて動き出さざるを得ない状況を加速させると考えています。その結果、当社の提案に耳を傾けてもらえる機会も必ず増えていくはずで、この意味において現在の状況は、当社にとって一つの大きなチャンスであると捉えています。この100年に一度とも言われる大きな環境変化の中で、私たちは企業理念「Ever Onward-限りなき前進」のもと、サステイナブルな未来の実現に向けた価値創造を、社員一丸となって実践してまいります。株主・投資家の皆様には、引き続き温かいご理解とご支援をお願いいたします。

代表取締役社長

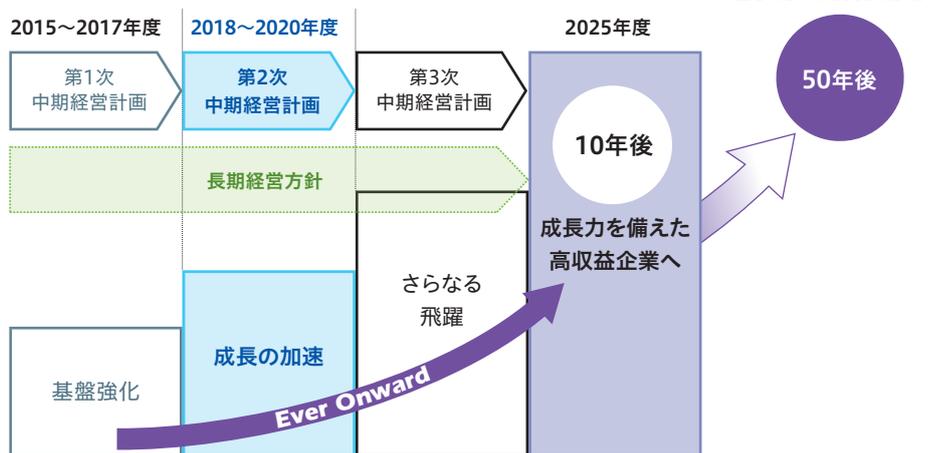
島 三博



■ 中期経営計画の概念図



■ 中期経営計画の位置づけ



アパレル業界の課題に ソリューション提案でお応えします

アパレル業界は、さまざまな課題に直面しています。

その状況に対し、当社は企画、生産、販売が一体となったトータルファッションシステム®により、多種多様なソリューションを提案しています。

ファッションの流通革命とも評されるトータルファッションシステム®は、スマートでスピーディ、サステイナブルな生産方法として、在庫ロスゼロ、売れ残りゼロ、機会損失ゼロ、廃棄ゼロを実現します。

ここではトータルファッションシステム®を構成する、さまざまなソリューションをご紹介します。

アパレル業界の課題

- 企画の資料の収集が大変
- ムダなサンプルの製造と輸送
- 遠隔地でのデザイン確認
- 糸の質感による違いを確認したい



シマセイキのソリューション提案

企画 PLANNING



試行錯誤とコラボレーションを バックアップ

カラーバリエーションなどを瞬時に変更して検討でき、遠隔地とも共有可能。



糸の質感までデジタルで再現し、 選択肢を拡大

デジタル化した糸を使用することで、シミュレーションが実物と見違えるほどリアルに。



ユーザーにオンラインでの 新しい研修システムを提供

「SDS®-ONE APEX」シリーズ用のeラーニングシステム。お客様の都合に合わせて受講でき、テレワーク/在宅勤務などの新しい勤務形態にもマッチします。

SHIMA SEIKI TOTAL FASHION SYSTEM



- 製造リードタイムの短縮
- 裁断によるロスの発生
- 縫製作業者の不足
- 生産状況の把握



- 見込み生産による廃棄ロス
- オーダーメイド、カスタム生産
- クイックレスポンス
- 省スペース



生産 PRODUCTION

パターンメイキングまでサポート

スタイル別の編成ノウハウをソフトに組み込むことで、パターンメイキングのためのプログラミング作業を、より早く、より簡単にできるよう、強かにサポート。

販売 SALES

バーチャルサンプルで 販売量をリサーチ可能に

バーチャルサンプルを使い、店舗に商品が並ぶ前から消費者の反応を見ることができ、デザイン段階にフィードバックして、需要の予測に役立てられます。



WHOLEGARMENT®

カットロスによる、廃棄を削減

必要な糸しか使わないので、従来のカットソーで発生する約30%のカットロスがなくなります。

一着から生産でき、在庫ロスを最少化

オンデマンド生産が可能のため、在庫が少なくなったときに補充でき、在庫不足による販売機会の損失を防ぎながら、在庫ロスを最少化できます。

ムダのない生産管理で 設備の投資効果をアップ

Shima KnitPLM® 生産計画とスケジュール作成、データの配信、収集で最適な生産が可能に。

一人ひとりにフィットした オリジナル製品を販売可能に

Mass Customization



一人ひとりに合った商品が提供でき、マスカスタマイゼーションを実現します。

アパレル分野以外にも幅広く提案を行っています

シマセイキでは、ホールガーメント®による立体編成技術や多様な素材に対応する裁断技術などの
独自技術を生かし、アパレル以外の幅広い分野へも積極的な提案活動を推進しています。

スポーツ

伸縮性に優れたニットが、アスリートの
身体に優しい、機能性、快適性を実現。
多彩なスポーツアイテム、アウトドアアイ
テムを通してアスリートのパフォーマンス
を最大限に引き出しています。



家具・インテリア

複雑な形状にフィットするニットは、チェアカバーや
ランプシェード、クッションカバーなどの素材として
生活空間を彩ります。また、自動裁断機が多くの家具・
インテリア製品の生産工程で活躍しています。



医療

医療用サポーターやソックス、着圧
手袋など、ニットの伸縮性は医療・
介護の分野に適しています。横編みで
あれば部分的な圧着も自由自在です。





産業資材

高機能素材、例えば炭素繊維やアラミド繊維、金属糸、モノフィラメントなどの編成、裁断の技術開発にも注力。ニットで培った高度な技術を応用することで、多様な産業分野に活躍の場を広げています。



ウェアラブル

ホールガーメント®であれば、ウェアに、電気サーキットやICタグ、通信用アンテナなどを埋め込むのにも適しています。健康モニターなど、ウェアラブルテクノロジーの進化・発展に寄与しています。



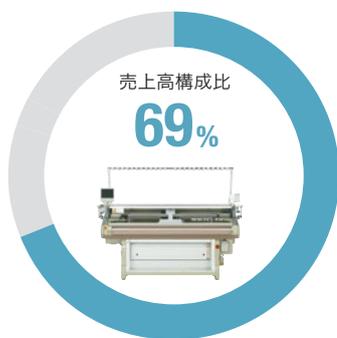
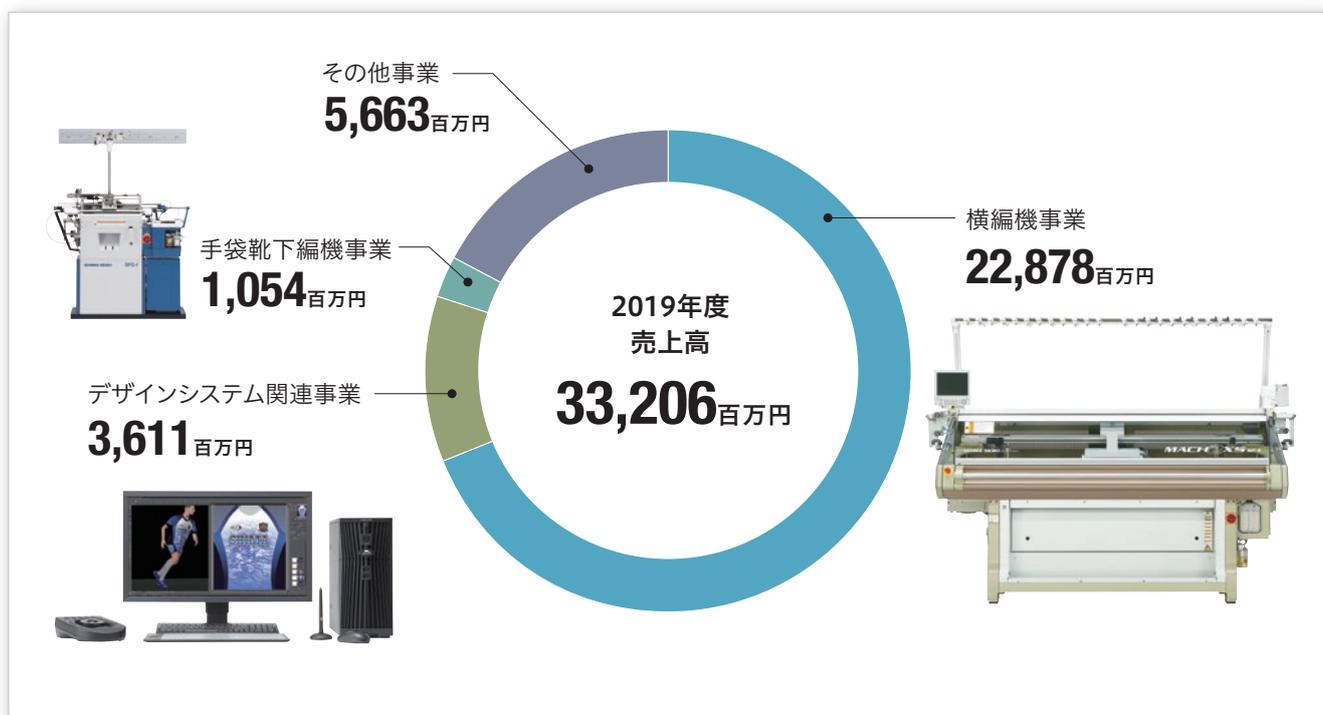
自動車

シートカバーやアームレストなどの内装部品のほか、ホールガーメント®で編成した断熱素材やガラスファイバー素材の部品など、新しい発想でクルマの未来を支援します。

事業セグメントの状況

当期の概況

※次期の見通しは、合理的に算定することが可能となった時点で速やかに発表します。



横編機事業

世界トップの技術力を誇るコンピュータ横編機を製造・販売する当社の主力ビジネス。一着丸ごと立体的に編み上げるホールガーメント®横編機、伸縮性を抑えた新しい編地ができる「SRV®」、コストパフォーマンスに優れた「SSR®」、さらに高速編成を可能とする「SVR®」など、独自の開発力を生かした豊富なラインアップで進化し続けています。

売上高／営業利益 (百万円)



当期の概況

当期は、米中貿易摩擦や環境問題を背景に設備投資マインドの冷え込みが業界全体に広がり、さらに第4四半期には新型コロナウイルス感染症の影響が加わったことで、主力市場の中国、バングラデシュ、ベトナムなどで新規受注が伸び悩みました。

中国を中心に販売を伸ばしてきたホールガーメント®横編機も、中国国内経済の成長鈍化などから新規受注が減少しました。

アジア市場で拡大してきたシューズアッパー生産用途の横編機も、安価な中国製品との競争激化で苦戦しました。

中東のトルコは、短納期対応を求める欧州アパレルからの受注増加を背景に、下半期からやや回復の兆しを見せましたが、前期の売上高には及びませんでした。

欧州市場や日本市場でも、総じてコンピュータ横編機の売上高は前期に比べて減少しました。

これらの結果、売上高は228億78百万円(前期比41.0%減)となりました。

ユーザー事例 :Andari Fashion Inc. 様

消費地でハイエンドゾーンに顧客を獲得。 Made in USAで雇用も創出

世界最大の消費地アメリカで、高級ブランドの生産にホールガーメント®を活用している Andari Fashion社のCEO Wei Wang氏にお話を伺いました。



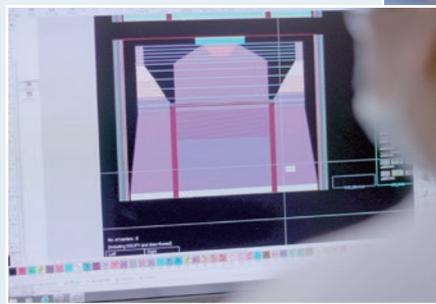
Wei Wang/CEO

当社は1991年に両親が始めた会社で、今ではアメリカの主要ブランドのニット製品を製造しています。

私と妹が会社を引き継いだとき、ハイエンドの顧客を引き付けられるようにしたいと考え、選んだのがシマセイキのホールガーメント®横編機でした。

シマセイキの機械なら、技術者が顧客の希望するデザインをニットプログラムに変換し、高品質なニット製品を編むことができます。また、一着丸ごと編むことができるので、リードタイムが短縮でき、製品をより早く市場に投入できるようにもなりました。

結果、顧客がニットの製造を海外に求めなくていいようになり、Made in USAで、地元での雇用も生み出しています。



このインタビューの詳細を、シマセイキサイト内の動画でご覧いただけます。

<https://www.shimaseiki.co.jp/product/case/andari/>



Andari Fashion Inc.

創業 1991年
所在地 アメリカ、カリフォルニア州
URL <https://www.andari.com/>

事業セグメントの状況



デザインシステム関連事業

アパレル業界をはじめ、さまざまな業界のモノづくりを支援するデザインシステムを提供。高精細なバーチャルサンプルや三次元シミュレーションなどを駆使することで、多彩なデザインを可能にすると同時にリードタイムの短縮とコスト削減を実現。また、自動裁断機による異業種への展開も積極的に進めています。

売上高／営業利益 (百万円)



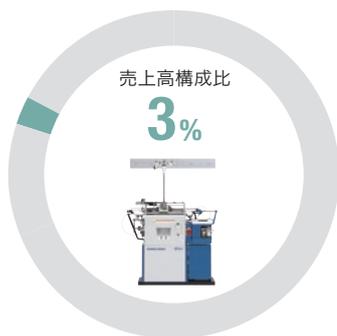
当期の概況

「SDS®-ONE APEX」シリーズは、新機種「SDS®-ONE APEX4」を市場投入しましたが、海外市場では横編機の販売不振に連動して売上高は減少となりました。

一方、日本市場ではニット産業以外の市場に販売を広げたことで、ほぼ前年並みとなりました。

また、自動裁断機「P-CAM®」は、日本、海外市場ともにテキスタイル分野での需要の落ち込みから販売は低調となりました。

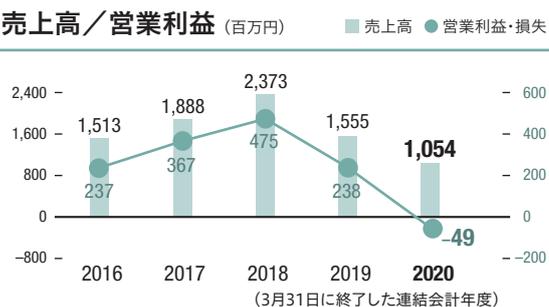
これらの結果、売上高は36億11百万円(前期比17.6%減)となりました。



手袋靴下編機事業

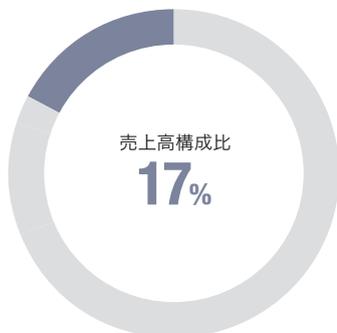
当社技術開発の原点である手袋編機、靴下編機の製造・販売。ファインゲージ化も進め、医療用など高付加価値分野への対応を強化しています。

売上高／営業利益 (百万円)



当期の概況

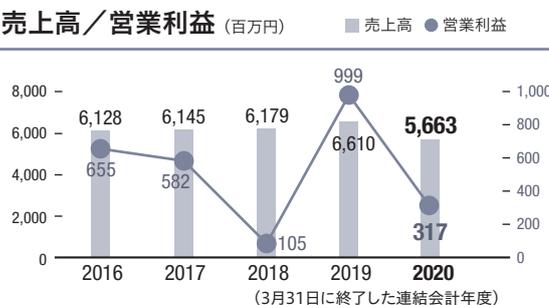
大手ユーザーの設備投資が減少し、売上高は10億54百万円(前期比32.2%減)となりました。



その他事業

当社編機・システム機器のメンテナンス部品の販売や修理・保守、高級カシミア糸の紡績、ニット製品の販売などの事業を行っています。

売上高／営業利益 (百万円)



当期の概況

メンテナンス部品や紡毛糸、ニット製品などの販売が減少し、売上高は56億63百万円(前期比14.3%減)となりました。

ユーザー事例：ミドリ アパレル ベトナム ホアビン様

シマセイキの自動裁断機「P-CAM®」が
ベトナム工場の安定生産を支えています

シマセイキの自動裁断機「P-CAM®」は、海外での導入が増えてきています。

そのうちの1社である、ミドリ アパレル ベトナム代表の渡辺智央様にお話を伺いました。

Q なぜシマセイキの自動裁断機「P-CAM®」を導入されたのでしょうか？

A 当社は、作業服で国内トップシェアを誇るミドリ安全の海外工場の一つとして、設立されました。現在、ベトナムの2つの工場を合わせて従業員約2,000名を擁し、年間約300万点の製品を生産しています。

ユニフォームの製造では、縫製前に生地を裁断する必要があります。しかし、現地には裁断の専門技術をもった職人が少ないことから、当初より自動裁断機の導入を決めていました。シマセイキの「P-CAM®」は、重ねた生地を正確かつスピーディに裁断でき、後工程の負担を少なくできることから、職人不足をカバーしながら、品質の安定化と生産性向上に大きく寄与しています。

Q 導入されてのご感想をお聞かせください。

A 「P-CAM®」は性能の高さだけでなく、故障が非常に少ないことも評価しています。また万一のトラブルでも、現地のアフターサポート体制がしっかりしていて、即座に対応してもらえる安心感があります。こうしたことから、2013年に操業を開始した第2工場にも「P-CAM®」を導入しました。

ベトナムでの生産量増加に伴い「P-CAM®」の導入台数は年々増えてきており、今後も増強していく計画です。また、これまで日本で行っていたサンプルの制作もベトナムに移管する方針のため、少量の裁断に適した裁断機の導入も検討しています。

このインタビューの詳細を、シマセイキサイト内の動画でご覧いただけます。

<https://www.shimaseiki.co.jp/product/case/midoriapparel/>



MIDORI APPAREL VIETNAM
HOA BINH CO., LTD.

設立 2013年

所在地 ベトナム ホアビン省



Topics 2020

(2019年4月1日～2020年3月31日)

労働安全の国際展示会「A+A2019」で先端技術を訴求

労働安全衛生の分野で 世界最大の展示会に出展

2019年11月、ドイツのデュッセルドルフで4日間にわたって開催された国際展示会「A+A2019」に出展しました。同展示会は、労働現場の安全と健康をテーマに隔年で開催される世界最大の見本市です。世界的な労働安全衛生に対する意識の高まりを背景に、世界63カ国・地域から約2,100の企業・団体が出展し、延べ7万3,000人以上の来場者がありました。

この展示会には、当社の手袋編機ユーザーを中心に世界各地の顧客企業も多く出展することから、当社はこれまで手袋のサンプルと手袋編機を出品し、会場で編機を動かして編成のデモを行うというユニークな展示方法で出展しています。

シマセイキの先端技術を 幅広い層にアピール

今回の出展では、手袋編機以外にホールガーマント®横編機「SWG®091N2」、横編機「SVR®123SP」、デザインシステム「SDS®-ONE APEX4」などを出品し、シマセイキの先端技術を訴求しました。

ブースでは、ウルトラファインゲージと高機能素材を融合させた作業用手袋の最新サンプルを多数展示したほか、耐切削性

の高い糸を使った労働者向けニットシューズ(足袋)の編成や、インレイ編みを用いた安全ベストの編成といった実演デモも実施。来場者や出展企業の高い注目を集めました。

また、今回初めて当社の製品や技術に触れられた異業種の来場者からは、「新規開発用途として設備投資を前向きに検討したい」という声を多くいただくことができ、当社が提唱する「KNITify the World (世界のニット化)」へのアプローチにつながりました。



ホールガーマント®を体験できる「オーダー・ニット・ファクトリー」を開設

2020年3月、「オーダー・ニット・ファクトリー」を和歌山市にオープンしました。

ここでは用意された型をベースに、丈の長さ、袖の長さ、色などをご自身でカスタマイズできるセミオーダーニットを作ることができます。ワンピース、マフラーなどの販売を承っており、お客様にピッタリのホールガーマント®製品をご購入いただけます。

また、写真や絵画をニットで表現する「ニッティングアート」なども取り揃え、ニットの可能性を実感していただけます。

機会がございましたら、ぜひお立ち寄りください。



オーダー・ニット・ファクトリー

〒640-8033 和歌山市本町2丁目1番地 フォルテワジマ1階 (年中無休、年末年始を除く)

TEL : 073-419-0603

https://www.shimaseiki.co.jp/company/other/order_knit_factory/

社会課題への取り組み

新型コロナウイルス対策で世界に向けてマスクデータを提供

新型コロナウイルス感染症の拡大によるマスク不足を受け、3月19日から当社ユーザー向けサンプル閲覧、ダウンロードサイト(SHIMA SEIKI ユーザーサイト)にて、ホールガーメント®横編機等で編成可能な3Dニットマスクのデータ提供を開始しました。

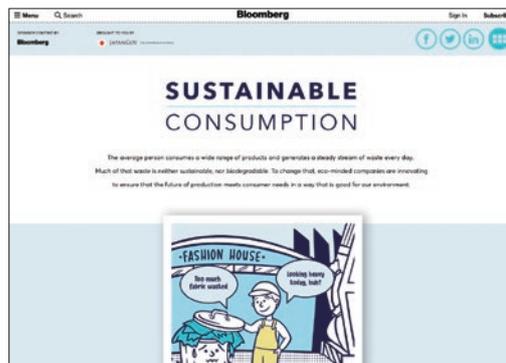
3D形状のマスクは、顔へのフィット感が高く、咳やくしゃみの飛沫防止に効果があります。当初、マスクなどの小物用品の編成に適したコンパクトな通称ホールガーメント®・ミニ向けのデータを提供していましたが、「N.SVR®123SP」などの成型機用データも追加しました。これらのデータは世界各地で300回以上ダウンロードされ、ニットマスクの製造・販売などに活用いただいています。



SDGsへの取り組みを行う先進的な企業として紹介されました

2019年9月に開催された国連SDGサミットに先立ち、SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みを行う先進的な企業の一社として、内閣府政府広報室の広報事業において当社が紹介されました。

アパレル業界における環境負荷の低減は、世界的な社会課題として認識されるようになってきています。この課題に対し、当社のホールガーメント®横編機とデザインシステム、その組み合わせによるソリューション提案は、生地のカットロスや縫い代を不要とし、また、リアルで高精細なバーチャルサンプルの活用によりサンプル作成の工程を省けるなど、持続可能な消費と生産を実現することができる日本の先進的な技術として掲載されました。



紹介ページ(英文のみ)

出典: <https://Bloomberg.com/ad/japangov/3dknitting>

自治体のSDGs推進ネットワークに参加

本社がある和歌山市では、SDGs未来都市の全国60自治体の一つに選定されたことを受け、2020年1月に「和歌山市SDGs推進ネットワーク」が設立されました。

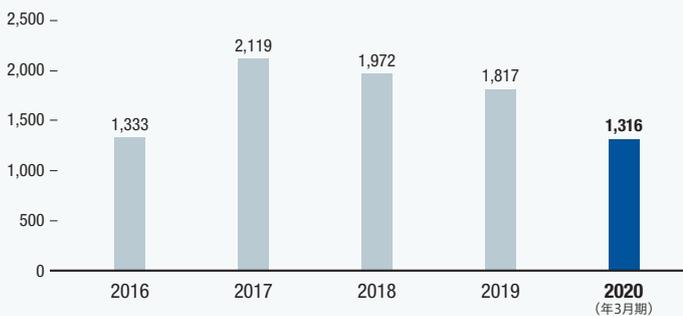
当社はこのネットワークの幹事企業のメンバーとして、講演やイベントなどの開催を通じて、SDGsの推進に向けた広報・普及啓発活動に取り組んでいきます。



ESGハイライト (単体)

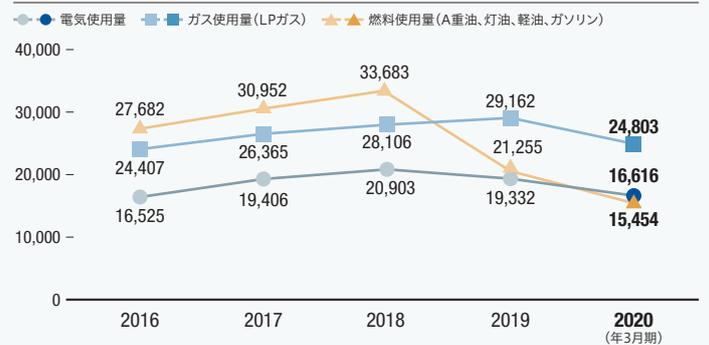
環境関係

廃棄物排出量 (t)



2017年3月期をピークに、減少しています。

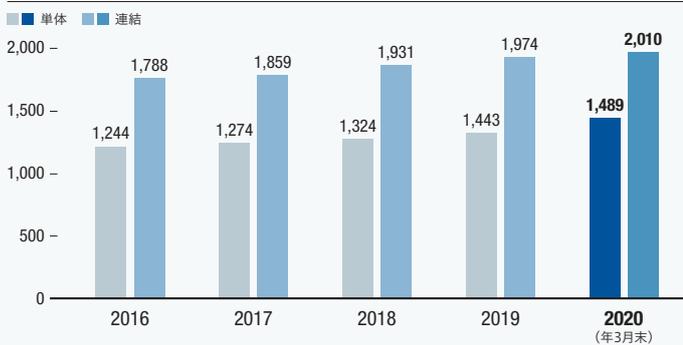
エネルギー使用量 (電気使用量:千kwh)(ガス使用量:kg)(燃料使用量:L)



生産高との関係もあり、電気使用量/燃料使用量は2018年3月期をピークに減少しています。

社会関係

従業員数 (人)



グローバル企業として活躍できる人材採用と、製造業として地域の雇用を大切にしています。

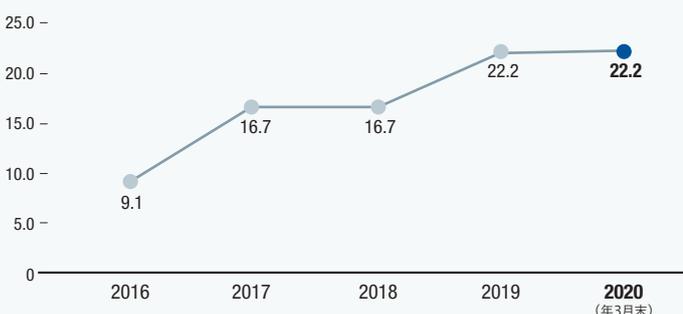
女性社員比率/女性管理職比率 (%)



現在は女性管理職比率が低い状況ですが、企業内保育園を設置するなど女性が働きやすい環境を整えています。

ガバナンス・その他

社外取締役比率 (%)

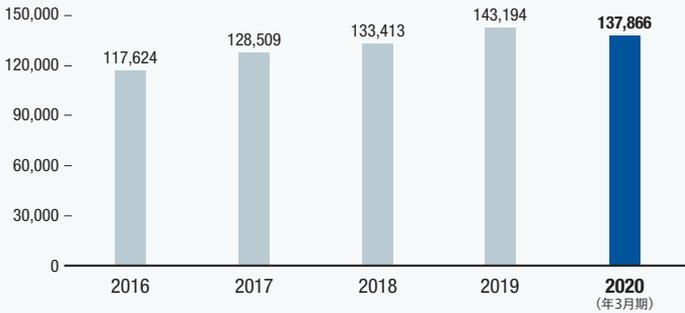


社外取締役については、専門的知識や経営経験を有する方を選任し、就任していただいています。

所有者別持株数 (千株)

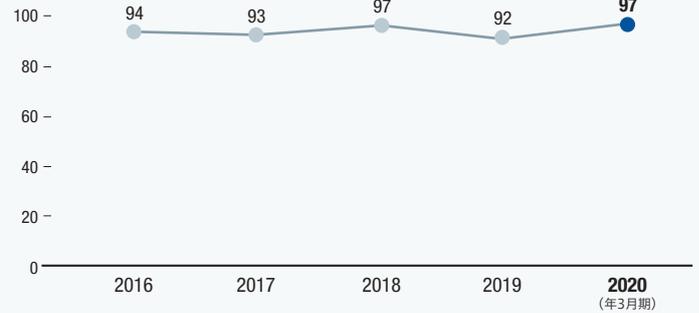


個人株主が多数を占めており、近年、外国人株主も増加しています。

水使用量(上水、工業用水) (m³)

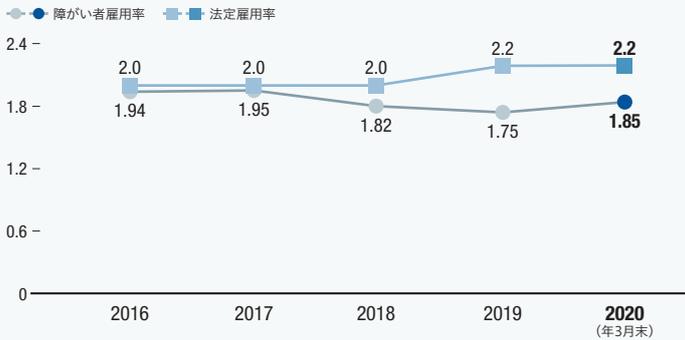
使用量の8割以上が工業用水であり、敷地面積の約30%を占める緑地の散水にも活用しています。

グリーン購入金額比 (%)



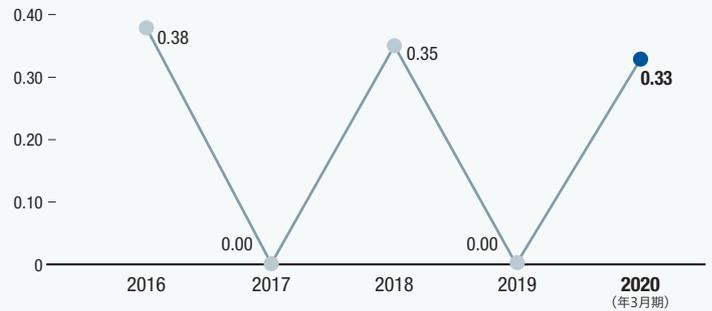
日常的に購入する事務用品等において、環境に配慮した商品を優先して購入する、グリーン購入への取り組みを全社的に推進しています。

障がい者雇用率 (%)



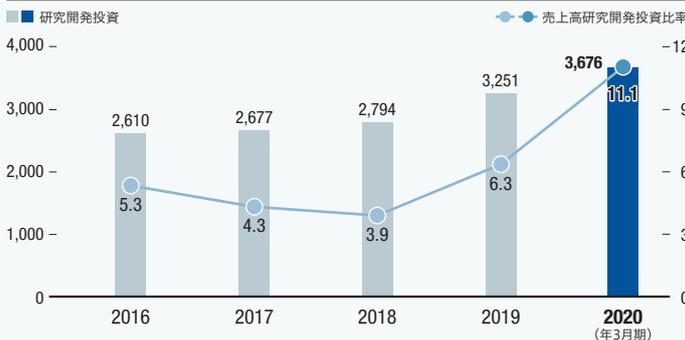
障がいのある方が活躍しやすい職場環境の構築など、法定雇用率の達成が今後の課題です。

休業災害(1日間以上)度数率



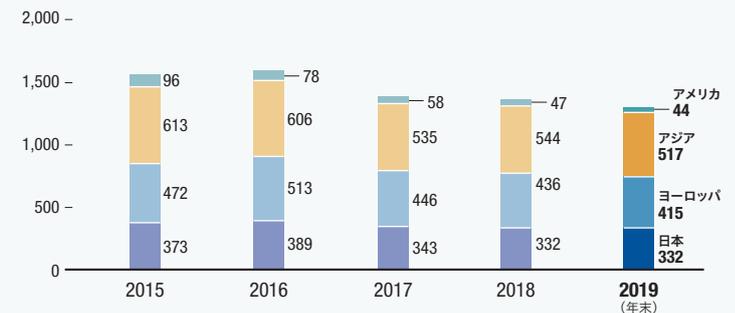
定期的な職場巡視などの安全衛生活動を行い、休業災害がゼロとなるよう取り組んでいます。

研究開発投資 (百万円)/売上高研究開発投資比率 (%)



中長期的視点から、近年、研究開発費を増額しています。

特許件数 (件)



独自の技術を多数発明し、編成技術のノウハウも含め1,000件を超える特許を有しています。

地球環境とともに

環境マネジメント

当社が設計、製造および販売する全ての製品において、係る全ての本社業務に関して、“外部認証機関によるISO 14001 第三者認証”を取得しています。(認証取得:2015年10月1日)

管理指標には、各種環境負荷の低減や工場緑化、再生可能エネルギーの利用促進などとともに、ホールガーマント®横編機やデザインシステムをはじめとする「環境配慮型製品」の提供も含めており、事業活動を通じて地球環境保全に貢献していきます。



工場の廃棄物、廃液、排気の削減

当社は工場を和歌山市内に集約しており、そこにおいて廃棄物の削減に取り組んでいます。

2019年度は生産高との関連もあり、廃棄物の量を対前年度比27.6%の削減をしました。

紙使用量の削減と電子化の推進

紙媒体での保管書類の電子化、プロジェクターなど電子機器利用による配布書類を減らした効率的な会議、製造部門における工程管理のデータ化等、社内における紙の使用量削減を目指し、全社で電子化での情報共有を進めています。

また、紙を使用する際においても、印刷方法の工夫や再生紙を利用するなど、環境への負担が少ない方法を採用しています。

電力

工場、本社ともに電力の使用量削減と照明のLED化、太陽光発電などの再生可能エネルギーによる給電に取り組んでいます。2019年度は生産高との関連もあり、電力使用量を前年度対比14%削減しました。



水資源

水の使用量削減にも取り組んでおり、2019年度は、対前年度比3.7%の低減を行いました。

梱包資材削減

配送時における梱包資材において、安全性を確保しつつ、関連協力会社との連携・協力のもと、資材の少量化、小型化、軽量化による梱包の簡素化を実現しています。

グリーン購入

環境に配慮した商品を優先的に購入する「グリーン購入」を推進し、環境負荷の低減に努めています。購入金額におけるグリーン購入対象品の割合が100%の達成を目標にしています。

工場緑化

社内の緑化に積極的に取り組み、敷地の約30%を緑地とし、約12,000本の木々を植樹してCO₂低減に寄与しています。

こうした総合的な工場緑化の推進と地域緑化への貢献が評価され、2016年に「緑化推進運動功労者 内閣総理大臣表彰」を受賞しました。

従業員とともに

経営トップと従業員とのコミュニケーション

全体朝礼の中で月次の社長講話を実施し、社長自ら従業員に向けてメッセージを発信しています。

社長が月次の経営状況を説明するとともに、その月のトピックについて講話をし、従業員と考え方の共有を図っています。



働き方改革

育児休業の取得が14名から18名に増加しています。

有給休暇の取得率も5日間の取得義務化の履行はもとより、5年連続で50%以上を保っています。

また、2017年4月に開設した企業内保育園「しまキッズランド」は、2020年3月末時点の定期保育利用率が最大収容人数の50%以上となっております。受け入れ年齢の引き上げを行うなど、より活用しやすい環境を整えています。

研修制度

新入社員研修をはじめとする各種研修制度の充実に取り組んでいます。工場現場への配属となる新入社員は、配属後に即戦力となるべく最大で半年間、実技研修を受講し、技能を体得できるようにしています。

また、語学研修、新任役職者研修、次世代リーダー育成研修などを実施し、従業員のスキルアップをバックアップしています。

表彰制度

魅力あるモノづくりを目指し、社員一人ひとりが仕事として継続的に創意工夫しながら品質向上・コスト低減・労働災害防止・顧客満足度向上・スキルアップ・エコロジー等に取り組むことを奨励する制度として、改善提案表彰を実施。優秀な提案者は月例の全体朝礼の中で社長より表彰を行っています。

また、資格取得の表彰により業務のレベルアップを目的とした資格取得奨励制度や、ホールガーマント®1級技術者など、社内技能検定制度を創設しています。

イノベーション創出企業として、技術発明を奨励する発明審査会も定期的で開催しており、毎年優秀な発明者をたたえて表彰式も行っています。その他、5年ごとに開催している創立記念式典においても、名人賞の表彰を実施しています。

従業員モチベーション向上策

当社敷地内にあるプール、テニスコートを休日に従業員家族にも解放しています。その他、昼休みの緑地利用や、グループ会社の運営するホテルを保養施設として利用可能にするなど、従業員の健康増進やモチベーションアップに取り組んでいます。

労働安全活動

当社では、月例の安全衛生委員会を開催し、従業員の安全遵守、健康増進、事故予防に取り組んでおり、今年度で49期目となります。委員会による定期的な社内巡視や、工場内の通行帯白線の随時見直しなど、安全で効率的に作業できる環境づくりを推進しています。

●無災害記録ボード

「無災害記録ボード」を掲示しています。

「従業員数(当社とグループ製造2社の直接雇用者数)×労災ゼロ(休業災害の発生ゼロ)日数」の数字を従業員食堂の壁面に掲示し、目標数値を15万日、30万日、45万日と達成するたびに更新し、その達成を目指して従業員の安全意識を高める活動を行っています。



株主・投資家とともに

株主総会

当社の最高意思決定機関として、重要事項を決定するとともに、年次の業績概況や連結計算書類の内容等を報告しています。議決権の行使は、パソコンやスマートフォン等を活用したインターネットでも可能です。

総会終了後に開催している工場見学会には、毎年多くの株主様に参加いただいております。当社の高い技術力を肌で感じていただく機会となっています。(今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、工場見学会を取りやめました。)



株主総会後の本社工場見学会(2019年)

決算説明会

証券アナリストや機関投資家向けの決算説明会を、年2回、決算発表に合わせて東京都内で開催しています。(2020年3月期の説明会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、取りやめました。)

決算説明会には代表取締役社長と経理財務担当役員が出席し、経営成績や将来の業績見通し、中期経営計画に基づく中長期的な経営ビジョンを説明するとともに、機関投資家との質疑応答を通して当社の経営方針に対するご意見やご提言をいただく機会としています。



決算説明会(東京)(2019年)

国内外投資家との情報交換

当社グループは、国内外機関投資家との対話の機会を増やす取り組みを推進しています。特に、国内の機関投資家とは定期的に面談を行っています。また、海外投資家に対しては、証券会社が主催するカンファレンスに積極的に参加し、面談の機会を増やしました。当社は、こうした海外IR活動を重要な取り組みの一つとし、今後も感度の高い機関投資家の声を経営に反映させてまいります。

IRツールの活用

当社の事業内容や経営戦略、最近のトピックを株主や投資家の皆様により理解していただくためのツールとして、株主通信やアニュアルレポートを定期的に発行するとともに、ウェブサイトでのIR情報の掲載を充実させています。



株主通信「株主のみなさまへ」

お客様とともに

品質マネジメント

2002年にアパレルデザインシステムの設計および製造に関するISO9001認証を取得し、運用しています。



事業継続計画(BCP)活動

当社では、大規模災害や事故等の発生時においても従業員やその家族および関係者の安全を確保しながら、事業活動の中断を最小化するための体制整備に取り組んでいます。

東南海・南海地震を想定した工場建屋の耐震対策や従業員の安否確認システムを整備するとともに、自らが被災した場合を想定して、事業を早期に復旧するための準備を平時から行い、災害が起きたときには、事業継続計画に基づき「危機管理本部」を立ち上げ、迅速に対応することとしています。

研究開発活動

当社では、創業以来、「Ever Onward — 限りなき前進」の経営理念のもと、「創造性に基づく独自の技術開発」を基本に、ハードウェア、ソフトウェアを自社開発しています。

横編機事業においては、ホールガーメント®横編機の機種バリエーションの拡充やニット製品の付加価値を高める機能開発に加え、編成作業の効率化、省人化につなげるオプション開発に取り組みました。

デザインシステム関連事業では、刷新した「SDS®-ONE APEX4」の機能強化を図り、操作性の向上に引き続き取り組みました。

自動裁断機「P-CAM®」シリーズは、「Total Cutting Solution」を確立させるため、裁断機の開発にとどまらず、延反からラベリング、そしてピックアップと裁断の前後工程において生産性向上や省人化につながる開発を継続しております。



SDS®-ONE APEX4

サプライヤーとともに

調達先については、適正な基準・生産背景による部材調達を徹底し、反社会的なルートによる調達、環境法令に適さない原料・工程による調達を排除する取り組みを行っています。

また、販売代理店に対しては、機械操作の手順指導だけでなく、信頼できるパートナーとして人間関係構築につなげるよう、研修・サポートを充実させ、製品開発における課題抽出にも反映させるようにしています。

地域・社会とともに

産学共同プロジェクトへの参画

和歌山県内で起業を志す若者を支援することを目的に、2017年に和歌山大学と学生の実習や研修等に協力する産学連携に関する協定を結びました。

「企業の森」に参画し、森林保全活動の取り組みを開始

当社は和歌山県が取り組む「企業の森」事業に参画し、2019年12月、県ならびに地元自治体と協定を結びました。今後10年間にわたり、和歌山県かつらぎ町において、「シマセイキ 天野の里山」として、植栽や間伐などの森林保全活動に取り組んでいきます。

スポーツ振興への協賛

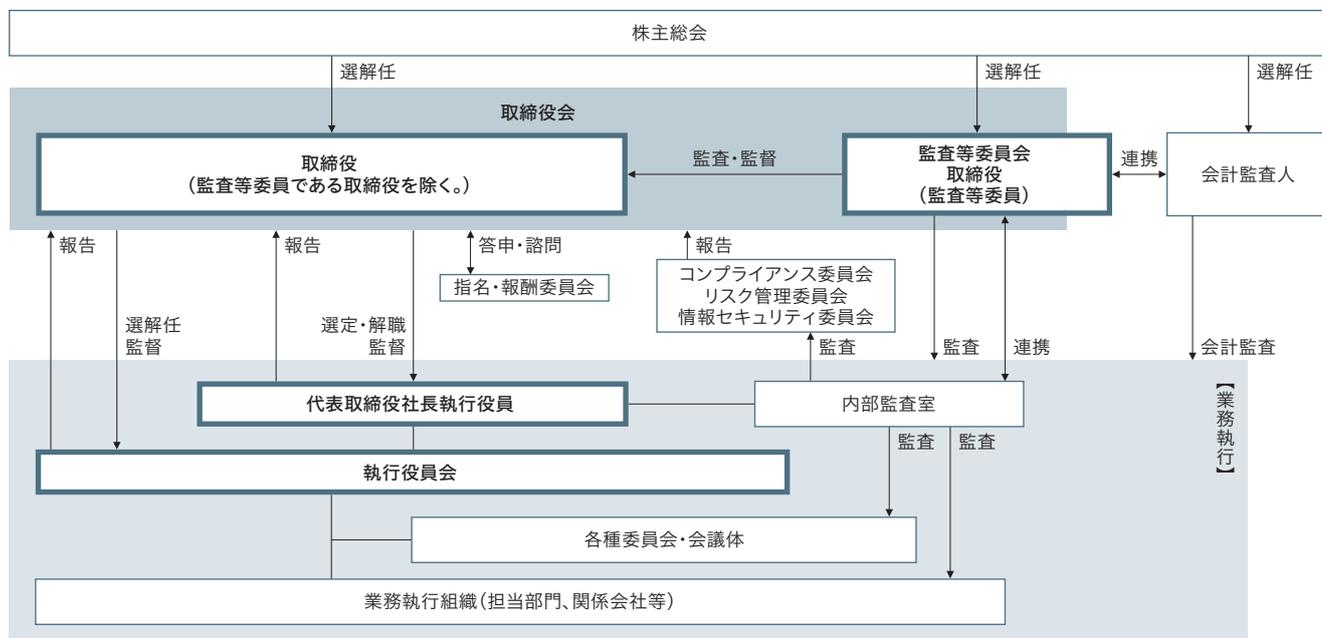
和歌山のマリンスポーツ発信のため、和歌浦湾でセーリング競技会「シマセイキカップ」を毎年、主催しています。

美観的な街づくり、ボランティア活動支援

本社周辺道路の電柱地中化推進や、敷地の一部を歩道として提供するなど、本社周辺の環境整備に注力しています。また、和歌山城周辺の清掃活動などを通じて、地域への貢献に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス (2020年6月25日現在)

コーポレート・ガバナンス体制図



基本方針と体制

当社はコーポレート・ガバナンスの充実を、経営の効率化および健全性、透明性を向上させ、同時に株主、顧客、取引先、従業員などのステークホルダーの利益を重視した経営を行うために重要な要件であると位置付け、取締役会および監査等委員会等の機能を十分に発揮させることにより、適正かつ効果的なコーポレート・ガバナンスが実施できる体制の構築を図ります。

ガバナンス体制

(取締役・取締役会)

取締役会は、社外取締役4名を含む11名で構成されています。取締役会は、原則として毎月1回以上、必要に応じて随時、機動的に開催し、法令で定められた事項および経営上の重要な事項の審議や経営方針を決定するとともに、業務執行を監督しています。2019年度は、12回の取締役会を開催しました。

(監査等委員・監査等委員会)

監査等委員会は、法務や財務・会計等における専門的な知見を有する社外取締役2名を含む3名の監査等委員である取締役で構成されています。

(内部監査室)

内部監査室員は3名で、業務全般の内部監査のほか、コンプ

ライアンス状況やリスク管理状況、財務報告を含めた内部統制監査を実施しています。

(会計監査)

会計監査人に大手前監査法人を選任し、定期的に会計監査と内部統制監査を受け、監査の実効性を高めています。

内部統制システム

当社は、会社法で定められた内部統制システムの構築を、法令遵守の徹底を図るとともに、業務の見直しと企業の体質強化への取り組みを通じて企業理念・目標を実現させるための要件であると認識しています。

当社は「内部統制システム推進本部」を設置しており、「内部統制システムの整備に関する基本方針」を策定し、その充実に努めています。

さらに、内部統制を有効に機能させるため、「コンプライアンス委員会」、「リスク管理委員会」、「情報セキュリティ委員会」を設け、これらの委員会活動を通じて内部統制の強化に取り組んでいます。

「財務報告に係る内部統制」については、投資家保護の観点から財務報告の信頼性を合理的に確保するとともに、公正で公平なディスクロージャーを推進する体制を構築しています。また、監査法人による内部統制監査を受けています。

コーポレート・ガバナンス報告書は下記ページよりご覧いただけます。
<https://www.shimaseiki.co.jp/irj/company/governance.html>

コンプライアンスへの取り組み

当社グループは、2006年10月に「シマセイキグループ行動基準」を制定し、その総則に「法令・企業倫理の遵守」を掲げ、関係法令の遵守や社会規範の尊重に努めてきました。

「コンプライアンス委員会」のもと、コンプライアンスプログラムを定め、定期的にコンプライアンスの状況をチェックするとともに、研修や事例集の配布などを通じ、計画的にコンプライアンスの定着を図っています。また、内部監査室による監査が行われる体制を築いています。

このほか当社は、従業員が法令違反その他の重要な事実を発見した場合、あるいは人権侵害やセクシュアル・ハラスメントなどを受けた場合の報告・通報窓口として、社内外に「企業倫理ヘルプライン」を設置しています。

会社の目指すところ(経営理念等)や 経営戦略、経営計画

当社では、中期経営計画を策定し、その中で経営理念、経営計画等を開示しています。詳細は当社ホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

https://www.shimaseiki.co.jp/irj/plan/pdf/plan2018_2.pdf

政策保有株式

当社は、事業上の重要性や取引関係の維持、強化、連携等を通じ当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資すると判断する場合、その株式は保有していく方針といたします。

保有の意義が必ずしも十分でないと判断される銘柄については、縮減を図ります。

取締役会は、毎年、個別の政策保有株式について、保有することによるリスクと取引関係の維持・強化・連携等を通じて得られる利益等を総合的に勘案し、中長期的な観点から政策保有株式を保有することの合理性を検証し、保有を維持するか縮減するかを決定します。

また、政策保有株式に係る議決権の行使については、その議案の内容を精査し、株主価値の向上に資するものか否かを判断した上で適切に行使します。

取締役会・監査等委員会の実効性確保

当社では、取締役会の機能が効果的・効率的に発揮できるよう、取締役(監査等委員である取締役を除く。)は10名以内、監査等委員である取締役は5名以内の適切な人数で構成し、

取締役会全体としての知識、経験、能力、専門性等のバランス、多様性が確保されるように配慮するものとしています。

取締役のうち、独立社外取締役については、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に寄与するように、社外役員の独立性に関する基準を満たし、求められる役割・責務を果たすことができる者が適切な員数(1/3以上)となるように配慮するものとします。また社外取締役の候補者については、経営経験を有する者を含むものとします。

現在の取締役(監査等委員である取締役を除く。)は、8名であり、うち2名は独立性のある社外取締役で、異なる事業分野における企業経営者です。また監査等委員である取締役は3名であり、うち2名は独立性のある社外取締役で、それぞれ財務・会計、法務分野における専門的な知見を有しております。

多様性の面では、ジェンダーに関して、現在女性の取締役2名が選任され、国際性の面では国際経験豊富な取締役が選任されています。

(取締役会の実効性についての分析・評価)

(1) 評価の方法

取締役および監査役に対して、取締役会の実効性に関して段階評価およびコメントを記載する方式の質問票を配布し、その結果をもとに、取締役会において分析・評価を実施いたしました。

(2) 評価結果の概要

当社の取締役会は、実効性を高めるため更なる改善が必要との評価となりました。評価を通じ、取締役会の実効性をより高めるため、取締役会の構成や中長期的な経営戦略等の議論の充実、後継者育成プロセスの監督の充実について更なる取り組みの強化を課題として認識しました。

(3) 今後の対応

当社取締役会は、上記評価結果を踏まえ、取締役会の監査・監督機能を強化し、コーポレート・ガバナンスを一層充実させるとともに、取締役会における重要な業務執行の決定権限の一部を取締役に委任することにより、意思決定の効率化を図り、経営の効率性を高めることで、取締役会の実効性の向上をより一層進めるため、監査等委員会設置会社へ移行することを決議いたしました。

今後も取締役会での議論の活性化、充実に向け、引き続き検討を続け、更なる取締役会の実効性の確保に努めてまいります。

コーポレート・ガバナンス

取締役のトレーニング

取締役会は、取締役が期待される役割・責務を適切に果たすため、必要な知識の習得や適切な更新等の研鑽に努めることを奨励し、このためのトレーニング機会の提供や斡旋、必要な費用の支援を行います。また、社外取締役については、当社事業をより深く理解するための事業内容の説明や意見交換の場を設けることとしています。

取締役会が経営陣幹部・取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬を決定するにあたっての方針と手続

取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬は、各取締役の役割と責任に応じた報酬とし、また当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向け、取締役のインセンティブを高める報酬体系としています。これにより取締役の報酬は、基本報酬と短期インセンティブ報酬として当該事業年度の業績に連動した役員賞与によって構成し、また中長期的なインセンティブ報酬として機能するようストックオプションによる報酬も組み入れております。なお、社外取締役の報酬は、その役割と独立性の観点から、基本報酬のみとしております。

取締役の報酬決定にあたっては、その透明性と客観性を高めるため、社外取締役を委員長とする指名・報酬委員会において審議を行い、その答申を受けて、取締役会の決議により決定いたします。

取締役会が経営陣幹部の選解任と取締役候補の指名を行うにあたっての方針と手続

取締役（監査等委員である取締役を除く。）候補者については、取締役がその役割・責務を実効的に果たすための知識・

経験・能力・専門性等を全体としてバランスよく備え、取締役会の多様性と適正規模を両立させる形で構成されるようにします。

取締役のうち、独立社外取締役候補者については、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に寄与するように、社外役員の独立性に関する基準を満たし、求められる役割・責務を果たすことができる者が適切な員数(1/3以上)となるように配慮するものとします。またその中には、経営経験を有する者を含むものとします。

監査等委員である取締役候補者については、その役割・責務を果たすための知識・経験・能力をバランスよく備え、監査等委員会の多様性を実現できる者を選任するものとします。また監査等委員である取締役候補者については、財務・会計に関する適切な知見を有する者を含むものとします。

取締役候補者、代表取締役および役付取締役の指名については、その透明性と客観性を高めるため、社外取締役を委員長とする指名・報酬委員会において審議を行い、その答申を受けて、取締役会の決議により決定いたします。なお、監査等委員である取締役候補者については、事前に監査等委員会の同意を得るものとします。

取締役、代表取締役、役付取締役に、法令・定款に違反する行為があったとき、その他当社の企業価値を毀損するような不適格と認められる相当な理由が生じたときは、指名・報酬委員会で解任・解職について審議するものとします。

関連当事者間の取引

当社が、当社役員や当社役員が実質的に支配する法人、または主要株主等と取引を行う場合には、あらかじめ取締役会に付議し、その承認を得るものとし、承認された取引についてはその結果を報告することとしています。

社外取締役の主な活動と選任理由

区分 氏名	取締役会 (12回開催)	監査役会 (13回開催)	選任理由
社外取締役 一柳 良雄 氏	12回出席	—	経済・産業政策等の分野における豊富な経験とともに企業経営者としての経営全般にわたる幅広い見識、経験を有していることから、社外取締役として選任しています。
社外取締役 残間 里江子 氏	12回出席	—	プロデューサーとしてイベントの企画やPR・広報戦略における豊富な経験とともに企業経営者として経営全般にわたる幅広い見識、経験を有していることから、社外取締役として選任しています。
社外取締役(監査等委員) 新川 大祐 氏	11回出席	12回出席	公認会計士・税理士としての豊富な経験を有しており、当社経営の健全性および透明性の確保に貢献いただけるものと判断し、監査等委員である社外取締役として選任しています。
社外取締役(監査等委員) 野村 祥子 氏	12回出席	13回出席	弁護士としての豊富な経験を有しており、当社経営の健全性および透明性の確保に貢献いただけるものと判断し、監査等委員である社外取締役として選任しています。

※2020年6月に開催した定時株主総会で監査等委員会設置会社へ移行し、新川大祐氏、野村祥子氏は新たに監査等委員である取締役に選任され就任いたしました。

取締役・執行役員 (2020年6月25日現在)

代表取締役会長
島 正博



代表取締役社長 執行役員
島 三博



営業本部長兼トータルデザインセンター、
経営企画部担当

常務取締役 執行役員
有北 礼治



資材部長兼生産本部担当

取締役 執行役員
梅田 郁人



島精機(香港)有限公司CEO

取締役 執行役員
南木 隆



管理本部長兼物流部担当

取締役 執行役員
西谷 泰和



開発本部長

社外取締役
一柳 良雄



株式会社一柳アソシエイツ
代表取締役&CEO

社外取締役
残間 里江子



株式会社キャンディッドプロデュース
代表取締役社長

取締役(監査等委員)
戸津井 久仁



社外取締役(監査等委員)
新川 大祐



北斗税理士法人 代表社員

社外取締役(監査等委員)
野村 祥子



堂島法律事務所 パートナー弁護士

執行役員
(取締役兼務を除く)

今井 博文
総務人事部長

大谷 明広
生産部長

北川 尚作
経営企画部長

島崎 宜紀
開発本部長

監査等委員会設置会社への移行について

当社は、2020年6月に開催した定時株主総会にて承認をいただき、監査等委員会設置会社へ移行いたしました。

移行の目的は、委員の過半数が社外取締役に構成される監査等委員会の設置により、取締役会の監査・監督機

能を強化し、コーポレート・ガバナンスを一層充実させることです。また、取締役会における重要な業務執行の決定権限の一部を取締役に委任することにより、意思決定の迅速化を図り、経営の効率性を高めます。



財務情報について

財務に関する次の情報は、有価証券報告書をご覧ください。

- 連結貸借対照表
- 連結損益計算書
- 連結包括利益計算書
- 連結株主資本等変動計算書
- 連結キャッシュ・フロー計算書
- 連結財務諸表注記

第59期 有価証券報告書

<https://www.shimaseiki.co.jp/irj/library/list.php?cate=2>

<財務数値について>

この日本語版Annual Reportは、海外の読者向けに作成された英語版Annual Reportを翻訳したものです。そのため、有価証券報告書の財務数値と異なる箇所があります。

企業情報 (2020年3月31日現在)

会社概要

商号 株式会社島精機製作所
本社 〒641-8511 和歌山市坂田85番地
 Tel: (073)471-0511(代) Fax: (073)474-8267
創立 1962年2月4日
資本金 148億5,980万円
従業員数 1,489名(連結2,010名)
URL 企業トップページ <https://www.shimaseiki.co.jp/>
 IR・投資家情報 <https://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html>



連結子会社 株式会社シマファインプレス SHIMA SEIKI EUROPE LTD.
 株式会社海南精密 SHIMA SEIKI U.S.A. INC.
 東洋紡糸工業株式会社 島精機(香港)有限公司(SHIMA SEIKI (HONG KONG) LTD.)
 SHIMA SEIKI ITALIA S.p.A.
 島精榮(上海)貿易有限公司(SHIMA SEIKI WIN WIN SHANGHAI LTD.)
 SHIMA SEIKI SPAIN, S.A.U.
 東莞島精貿易有限公司(SHIMA SEIKI WIN WIN DONGGUAN LTD.)
 SHIMA SEIKI (THAILAND) CO., LTD.
 SHIMA SEIKI KOREA INC.

投資家情報

決算期 3月31日
定時株主総会 6月
発行可能株式総数 142,000,000株
発行済株式総数 35,800,000株
株主数 16,029名
上場取引所 東京証券取引所市場第一部
監査法人 大手前監査法人

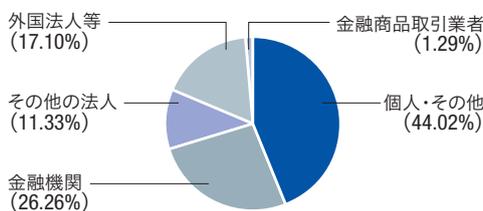
主要大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
和島興産株式会社	3,001	8.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,538	4.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,452	4.21
株式会社紀陽銀行	1,387	4.02
島 正博	1,070	3.10
島 三博	1,061	3.08
株式会社三菱UFJ銀行	880	2.55
合同会社和光	780	2.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	647	1.88
梅田 千景	632	1.83

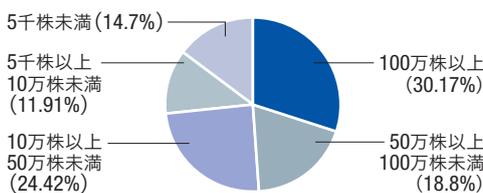
(注)持株比率は、自己株式(1,288千株)を控除して計算しております。

株式分布

所有者別分布



所有数別分布



株価と出来高の推移



IRサイトのご紹介

当社のIR情報をホームページに掲載しています。業績などの最新情報はもちろん、用語集やよくある質問、IRカレンダーなど役立つコンテンツをご用意しています。ぜひ一度、ご覧ください。



<https://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html>

スマートフォンからもIR情報へアクセス

QRコード(二次元コード)の読み取りに対応したスマートフォンをお持ちの方は、右の画像を読み込むと簡単にアクセスできます。



株式会社島精機製作所

〒641-8511 和歌山市坂田85番地

Tel:(073)471-0511(代) Fax:(073)474-8267

<https://www.shimaseiki.co.jp>

ホールガーメント、WHOLEGARMENT等は株式会社島精機製作所の日本及びその他の国における登録商標または商標です。

この冊子に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。